

問1 中部地方の農業について、東海地方で盛んに行われている農業の特色と、その代表的な生産地である半島名の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。（2019年 鳥取公立入試 類似）

1. 渥美半島における施設園芸農業 2. 房総半島における施設園芸農業 3. 渥美半島における米の二期作 4. 能登半島における果樹栽培と酪農

問2 中部・北陸地方の日本海側に位置する県のうち、かつての「加賀国」にあたる地域に立地し、江戸時代に形成された城下町を起源とする現在の石川県の県庁所在地はどこか、次の中から選びなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 金沢市 2. 富山市 3. 福井市 4. 新潟市

問3 中部地方の内陸部、岐阜県に位置する白川郷では、急傾斜の茅葺き屋根を特徴とする「合掌造り」の家屋が見られます。この地域でこのような独特の建築様式が発達した理由として、自然環境の面から説明した次の文のうち、最も適切なものはどれですか。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため 2. 台風の通り道にあたるため、激しい風雨に耐えられるよう屋根の面積を広げて安定させるため 3. 夏季の高温多湿な気候において、屋根裏の通気性を高めて室内の温度上昇を抑えるため 4. 山間部で土地が狭いため、屋根を高くすることで居住スペースを垂直方向に広げるため

問4 愛知県は日本最大の製造品出荷額を誇る県ですが、その工業出荷額の内訳において、自動車産業などの機械工業を含む「重工業」の占める割合が非常に高いという特徴があります。この愛知県を中心として発達している、日本を代表する工業地帯の名称として適切なものはどれですか。（2023年 岩手県公立入試 類似）

1. 中京工業地帯 2. 京浜工業地帯 3. 阪神工業地帯 4. 瀬戸内工業地域

問5 愛知県は日本最大の自動車工業地帯を擁していますが、瀬戸市の伝統産業である陶磁器の技術が、現代の自動車工業にどのように貢献しているといえますか。その説明として最も適切なものを選びなさい。（2025年 滋賀公立入試 類似）

1. 陶磁器の成形・焼成技術を開発させ、耐熱性や絶縁性に優れた精密部品を供給している。 2. 陶磁器の絵付け技術を応用し、自動車の車体における繊細な塗装工程を担っている。 3. 粘土の採掘で培った土木技術を利用して、自動車工場の敷地造成を行っている。 4. 伝統的な職人の徒弟制度をモデルにして、自動車工場の効率的な労働管理を行っている。

問6 福井県鯖江市の眼鏡産業のように、かつて積雪が多く農作業ができない「農閑期」に、農家の「副業」として始まった地場産業が、都市部から離れた地域でも大きく発展した理由として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため 2. 鉄道の開通により、大消費地である東京や大阪へ短時間で出荷できたため 3. 原料となる鉱物資源や燃料となる木材が、その地域付近で豊富に採れたため 4. 海外から安価な製品が大量に輸入され、その加工技術が直接伝わったため

問7 日本の地形の特色について述べた次の文のうち、中部地方に位置する「木曾山脈」の説明として最も適切なものを選びなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。 2. 東北地方の中央を南北に走る、日本で最も長い距離を持つ山脈。 3. 新潟県と群馬県の県境に位置し、季節風を遮ることで日本海側に大雪をもたらす山脈。 4. 中国地方の中央部を東西に走り、山陰と山陽の気候を分ける山脈。

問8 静岡県周辺の太平洋沿岸部において、冬でも気温が5度を下回らない日が多く、比較的温暖である理由として最も適切な説明はどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため 2. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、冬でも温った空気が流れ込みやすいため 3. 一年中吹いている偏西風が、大陸の暖かい空気を絶えず運んでくるため 4. 標高が低く日照時間が短いため、放射冷却が起こりにくいから

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
渥美半島における施設園芸農業
- 愛知県の渥美半島では、太平洋側の温暖な気候を背景に、ビニールハウスや温室などの施設を活用して花や野菜を栽培する「施設園芸農業」が非常に盛んです。特に菊の成長を光で調節する電照菊の栽培は全国的に有名です。房総半島は千葉県（関東地方）に位置し、米の二期作はかつての高知県などで見られた形態です。また、能登半島は北陸地方に位置するため、東海地方の説明としては不適切です。
- 問2** **答え 1**
金沢市
- 石川県の県庁所在地である金沢市は、江戸時代に加賀藩の城下町として発展した歴史を持ちます。北陸地方の日本海側に位置する都市の中でも、大規模な城下町の構造が現在の都市基盤にも影響を与えている代表例です。富山市は富山県、福井市は福井県の県庁所在地であり、それぞれ異なる歴史的経緯を持っています。
- 問3** **答え 1**
冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため
- 白川郷は日本有数の豪雪地帯であり、冬には数メートルもの雪が積もります。合掌造りの急な屋根（約45度から60度）は、雪が滑り落ちやすくすることで屋根にかかる荷重を減らし、家屋の倒壊を防ぐ合理的な構造になっています。また、広い屋根裏を利用してかつては養蚕（蚕を飼うこと）が行われていたことも、この建築様式が維持された歴史的背景にあります。
- 問4** **答え 1**
中京工業地帯
- 愛知県は豊田市を中心とした自動車産業の集積が著しく、輸送用機械などの重工業が県全体の工業を牽引しています。この地域一帯は中京工業地帯と呼ばれ、1977年以降、日本で最も出荷額の多い工業地帯としての地位を確立しています。他の工業地帯と比較しても、機械工業の割合が際立って高い点が大きな特徴です。
- 問5** **答え 1**
陶磁器の成形・焼成技術を発展させ、耐熱性や絶縁性に優れた精密部品を供給している。
- 瀬戸市の地場産業である陶磁器生産には、原料となる鉱物の配合や、高温で焼き固める高度なノウハウが蓄積されています。これらの伝統技術を科学的に進化させることで、金属よりも熱に強く摩耗しにくいファインセラミックスが生み出されました。これが同じ愛知県内で盛んな自動車工業において、エンジンの点火プラグや排気ガス浄化用センサーなどの重要部品として活用されることで、地域の産業が密接に連携しています。
- 問6** **答え 1**
雪国の農閑期における安価な労働力を活用できたため
- 北陸地方などの多雪地域では、冬の間には農作業ができない農閑期が存在します。この期間の農民の労働力を副業として活用することで、都市部に比べて賃金が安い（安価な労働力）という利点を生かし、地場産業が成立・発展しました。鯖江市の眼鏡産業も、当初はこのように農家の冬の仕事として広まったものです。現在は、より人件費の安い発展途上国との価格競争が課題となっています。
- 問7** **答え 1**
飛騨山脈と赤石山脈の間に位置し、日本アルプスの一角をなす標高の高い山脈。
- 木曾山脈は長野県に位置し、西側の飛騨山脈、東側の赤石山脈とともに「日本の屋根」と呼ばれる険しい地形を構成しています。他の選択肢にある奥羽山脈は東北地方、越後山脈は主に新潟県付近、中国山地は中国地方に位置する山脈であり、所在地や地形的特徴が異なります。
- 問8** **答え 1**
暖流である黒潮（日本海流）の影響を受けるとともに、北からの冷たい季節風が山脈によって遮られるため
- 太平洋側の気候が冬に温暖なのは、沿岸を流れる暖流の黒潮が空気の温度を下げにくくしていることや、冷たい北西の季節風が険しい山脈（日本アルプスなど）に遮られ、乾燥した暖かい風として吹き降りしてくることが主な要因です。対照的に、日本海側では暖流の対馬海流の影響で雪が降りやすくなります。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 木曾川	中部地方の険しい山間部から流れ出るこの河川は、下流部に広大な濃尾平野を形成し、古くから農業や生活用水として利用されてきました。選択肢にある北上川は東北地方、黒部川は富山県、十勝川は北海道を流れる河川であり、流路や注ぐ海が異なります。
問2	答え 1 輪島塗	石川県輪島市を中心に生産されている輪島塗は、国の伝統的工芸品に指定されている漆器です。石川県は北陸地方の産業の中心の一つであり、伝統産業が盛んな地域として知られています。他の選択肢のうち、会津塗は福島県、西陣織は京都府、南部鉄器は岩手県の伝統的工芸品です。
問3	答え 1 他の産地との競争を避け、需要が高まる時期に高い価格で販売するため	夏の平地は気温が高すぎてレタスなどの生育に適しません。その時期に涼しい高原で栽培して出荷することで、市場に出回る量が少ない「品薄」の状態を狙い、有利な価格で取引することを目的としています。これを「抑制栽培」と呼びます。
問4	答え 1 標高が高い地域	高冷地農業が成立する最大の要因は「標高」にあります。平地である豊橋市は夏に30度近い気温になりますが、標高1000mを超える地域にある嬭恋村では、夏でも平均気温が20度前後に保たれます。この涼しい気候こそが、冷涼な環境を好む野菜の栽培を可能にしています。
問5	答え 1 山地と河川に挟まれた平坦な土地が非常に限られているため、主要な交通路が密集せざるを得ないから。	上野原市周辺のような中山間地域では、山地や河岸段丘の崖によって、大規模な開発が可能な平坦地が制限されています。そのため、かつての街道や現在の国道、そして鉄道（中央本線）などの交通網は、地形の制約を受けながら、崖と河川の間の狭い空間に集中して配置されるという特徴的な土地利用が見られます。
問6	答え 1 湿った北西の季節風が日本海を渡る際に水分を蓄え、県中央部を南北に走る飛騨山脈にぶつかって雪を降らせる。	富山県は日本海側の気候に属しています。冬になるとシベリア高気圧から吹き出す北西の季節風が、対馬海流（暖流）の影響で蒸気（水分）を蓄えた日本海を渡ってきます。この湿った空気が、飛騨山脈（北アルプス）などの高い山々にぶつかって上昇することで雲雲が発達し、山脈の西側にあたる地域に多くの雪を降らせませす。
問7	答え 1 時差のある世界各地からの便を柔軟に受け入れ、深夜や早朝の乗り継ぎ需要に対応するため	国際的な拠点（ハブ空港）として機能するためには、世界各国の都市との時差を考慮したスケジュール設定が不可欠です。24時間運用が可能であれば、深夜や早朝であっても到着便から別の便へのスムーズな乗り継ぎが可能になり、国際的な競争力が高まります。
問8	答え 1 東海工業地域	静岡県の太平洋沿岸に位置するこの地域は、浜松市のオートバイや楽器、富士市の製紙業など、独自の発展を遂げた都市が連なっているのが特徴です。中京工業地帯や京浜工業地帯といった大規模な工業地帯に挟まれながらも、輸送用機械をはじめとする多様な製造業が高いシェアを誇っています。
問9	答え 1 静岡県	静岡県は、温暖な気候を利用した茶やみかん、温室野菜などの栽培が盛んで、農業産出額において高い数値を誇ります。これに加えて、駿河湾などの豊かな漁場や、焼津港といった全国有数の水揚げ量を誇る漁港を有しているため、漁業産出額も他県に比べて極めて大きいという特徴があります。

問1 佐渡島では、鉱山跡の観光活用に加え、農業の「第6次産業化」による地域活性化が進められています。この「第6次産業化」の内容を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。
2. 農地を工業団地として整備し、最先端の宇宙開発拠点や精密機械工場を誘致して、地域の雇用を創出すること。
3. 都市部への人口流出を防ぐため、近隣の都市へ通勤する住民に対して、交通費や住宅費を自治体が全額補助する制度を導入すること。
4. 食料自給率を向上させるため、全ての農地を国が管理し、生産された農産物をすべて海外へ輸出する仕組みを作ること。

問2 中部地方で見られる「6月から10月にかけての収穫量が、11月から5月の収穫量を大幅に上回る」というレタスの生産状況を説明した文として、適切なものはどれか、選びなさい。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている
2. 冬の温暖な気候とビニールハウスを利用した促成栽培が行われている
3. 大消費地である東京や名古屋に近いため、通年で新鮮な野菜を出荷している
4. 機械化が進んだ大規模な農地で、年に2回異なる農作物を栽培している

問3 中部地方の中央部を南北に貫くように、3,000m級の山々が連なる3つの山脈があります。北から順に位置するこれら3つの山脈の名称をまとめた、「日本アルプス」の構成として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈
2. 飛騨山脈、越後山脈、赤石山脈
3. 飛騨山脈、木曽山脈、奥多摩山地
4. 奥羽山脈、越後山脈、赤石山脈

問4 日本の工業に関する統計において、2020年の製造品出荷額等が約44兆円に達し、全国1位となっている県の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 愛知県
2. 神奈川県
3. 大阪府
4. 宮城県

問5 長野県の諏訪盆地では、かつて盛んだった製糸業の伝統や、空気や水がきれいな自然環境を活かして、時計やカメラ、医療機器といった高度な加工技術が必要とする産業が発達しました。このような工業の種類を何といいますか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 精密機械工業
2. 石油化学工業
3. 重化学工業
4. せんい工業

問6 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 中央高地の気候
2. 瀬戸内の気候
3. 北海道の気候
4. 南西諸島の気候

問7 日本の中央部、内陸に位置するある県では、2022年の統計において、リンゴの収穫量割合が18.0パーセントで全国2位、ブドウの収穫量割合が17.8パーセントで全国2位となっています。この県はどこですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 長野県
2. 青森県
3. 山梨県
4. 岡山県

問8 長野県の観光施設への訪問者数に関する統計において、東京都や京都府、沖縄県と比較した際の長野県の特徴として最も適切な説明を選びなさい。なお、この統計において長野県は「山・高原」の訪問者が1,000万人を超えており、「温泉」や「歴史・文化」の項目も高い数値を記録していますが、「ショッピングなどの都市型観光」の割合は他の都県に比べて低くなっています。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。
2. 巨大なショッピングモールやテーマパークを中心とした都市型のレクリエーション施設が、観光客を集める最大の要因となっている。
3. 温暖な気候と広大な海岸線を活かしたマリノレジャーが盛んであり、冬場の集客よりも夏場の観光客数が圧倒的に多い。
4. 最新の科学技術を展示するパビリオンや、大規模な国際会議場などのビジネス拠点としての施設が観光の中心となっている。

答え合わせ・解説

-
- 問1** **答え 1**
農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。
- 第6次産業化とは、第1次産業（農業・水産業など）の従事者が、第2次産業（製造・加工）と第3次産業（流通・販売・観光など）を融合させることで、農産物に新たな付加価値を生み出す取り組みです。佐渡島でも、特産品を使った加工品の開発や直売所の運営など、農業を多角化することで地域の所得向上や産業の活性化を図っています。
-
- 問2** **答え 1**
夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている
- 中部地方（特に長野県や群馬県の高原地帯）では、夏の涼しさを利用して野菜の成長を遅らせ、他の地域が暑さで生産できない時期に出荷する「抑制栽培」が盛んです。これにより、夏のレタス市場において圧倒的なシェアを占めています。
-
- 問3** **答え 1**
飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈
- 中部地方には、北から飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈という険しい3つの山脈が並んでおり、これらはまとめて日本アルプス（別名：日本の屋根）と呼ばれます。越後山脈は新潟県側に位置する山脈であり、奥多摩山地は関東地方に位置するため、日本アルプスの構成には含まれません。
-
- 問4** **答え 1**
愛知県
- 中京工業地帯の中核を担う愛知県は、自動車工業を中心とした産業が極めて盛んです。製造品出荷額等は長年にわたって全国1位を維持しており、2位以下の都道府県を大きく引き離しているのが特徴です。一方、人口も多い神奈川県は京浜工業地帯に含まれますが、製造品出荷額等では愛知県に及びません。
-
- 問5** **答え 1**
精密機械工業
- 諏訪盆地は、かつて製糸業が盛んな地域でしたが、戦時中に大都市から工場が疎開してきたことや、製品が小型・軽量で輸送費の負担が少ないこと、さらに高度な技術を持つ労働力が確保しやすかったことから、時計やカメラなどの製造が主力となりました。この地域は、その発展の様子から「東洋のスイス」とも呼ばれました。
-
- 問6** **答え 1**
中央高地の気候
- 山梨県の甲府盆地や長野県の長野盆地などは、季節風の影響を直接受けにくい内陸に位置しているため、他の地域と比較して降水量が少なくなります。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、夏は日中の気温が非常に高くなる盆地特有の性質を持っています。
-
- 問7** **答え 1**
長野県
- 長野県は、リンゴの収穫量が青森県に次いで全国2位、ブドウの収穫量が山梨県に次いで全国2位となっています。中央高地に位置し、標高が高い地域や盆地が多く、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んです。選択肢のうち、青森県はリンゴが1位ですがブドウは上位ではなく、山梨県はブドウが1位ですがリンゴは上位ではありません。
-
- 問8** **答え 1**
豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。
- 長野県は日本アルプスに代表される険しい山岳地帯に位置しており、その地形を活かした「山・高原」でのレジャーや、冬の積雪を利用した「スキー場」が大きな強みです。また、火山地帯であることから「温泉」が豊富であり、善光寺や松本城といった「歴史的な寺社や城跡」も併せ持っています。一方で、東京のような大規模な商業施設が集中する都市型観光の比重は相対的に低いのが特徴です。
-

問1 日本最長の河川である信濃川の名称の由来や特徴について説明したものととして、最も適切な内容を選びなさい。（2025年 愛媛公立入試 類似）

- かつての令制国名である信濃国に由来し、長野県内では千曲川と呼ばれている。
- 流域面積が日本で最も広く、関東地方から新潟県へと流れている。
- フォッサマグナの西端に沿って流れ、静岡県で太平洋に注いでいる。
- 新潟県にある山脈を水源とし、山形県を経て日本海へと注いでいる。

問2 佐渡島では、鉱山跡の観光活用に加え、農業の「第6次産業化」による地域活性化が進められています。この「第6次産業化」の内容を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

- 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。
- 農地を工業団地として整備し、最先端の宇宙開発拠点や精密機械工場を誘致して、地域の雇用を創出すること。
- 都市部への人口流出を防ぐため、近隣の都市へ通勤する住民に対して、交通費や住宅費を自治体が全額補助する制度を導入すること。
- 食料自給率を向上させるため、全ての農地を国が管理し、生産された農産物をすべて海外へ輸出する仕組みを作ること。

問3 三重県に位置するある重要港湾は、統計上、輸出額が東京港に次ぐ規模に達しています。この港の輸出特性として、輸出品全体の約4分の1を自動車占め、さらに半導体等製造装置や集積回路、タイヤなどの工業製品を主に中国や韓国へ輸出しているという特徴があります。この港の名称として正しいものを選んでください。（2021年 滋賀公立入試 類似）

- 四日市港
- 名古屋港
- 神戸港
- 北九州港

問4 愛知県の渥美半島は、かつては水不足に悩まされる地域でしたが、ある大規模な用水路が整備されたことで、日本有数の農業地帯へと発展しました。この地域に供給され、施設園芸農業の発展を支えている用水の名称として正しいものはどれですか。（2026年 富山公立入試 類似）

- 豊川用水
- 愛知用水
- 明治用水
- 香川用水

問5 中部地方の各県の統計において、愛知県よりも人口規模が小さく、日本海側に位置する石川県の特徴について述べたものととして正しいものはどれですか。農業産出額の主要品目に着目して答えなさい。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

- 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。
- 中部地方で最も人口が少ない県であり、米の産出額が全国で最も高い。
- 内陸部に位置するため、米の生産は行われず、果実の産出額が全体の9割を占めている。
- 愛知県よりも人口が多く、農業産出額のほとんどが畜産によって占められている。

問6 ある県の工業統計を確認すると、製造品出荷額において「輸送用機械器具」が26兆円を超え、圧倒的な規模を誇っています。この県に関する説明として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

- 中京工業地帯の中核に位置し、自動車の生産額が非常に多い愛知県である。
- 日本海側に位置し、米の産出額が農業全体の約6割を占める新潟県である。
- 内陸部に位置し、涼しい気候を利用して野菜・果実栽培が盛んな長野県である。
- 京浜工業地帯の一部をなし、精密機械の出荷額が国内最大級である長野県である。

問7 富山市における昭和中期から平成にかけての地域変化について、JR富山港線沿線の状況を説明した文として、背景や要因を含めて最も適切なものはどれですか。（2016年 長野県公立入試 類似）

- 通勤や通学の利便性が高い鉄道沿線の土地が需要を増したため、水田だった場所が大規模な住宅地として整備された。
- 富山城址の北東にある市役所の移転に伴い、その周辺の広大な水田がすべて官庁街へと作り替えられた。
- 米の生産過剰を解決するために、政府の主導によって鉄道沿線の水田がすべて工場用地や商業ビル群に転換された。
- 地価の安かった県庁付近の畑地だが、人口の過密を解消するために新興住宅地として再開された。

問8 木曾川、長良川、揖斐川の下流に広がる濃尾平野の低湿地帯では、古くから河川の氾濫による水害を防ぐための工夫が行われてきました。集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ、この地域特有の仕組みや集落を何と呼びますか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

- 輪中（わじゅう）
- 扇状地（せんじょうち）
- カルデラ
- シラス台地

問9 高度経済成長期の日本で発生した四大公害病の一つであるイタイイタイ病について、その被害が深刻化した地域と、汚染の源となった河川の組み合わせとして正しいものを選択してください。（2022年 愛知公立入試 類似）

- 富山県の神通川流域
- 熊本県の水俣湾沿岸
- 三重県の四日市市周辺
- 新潟県の阿賀野川流域

答え合わせ・解説

問1	答え 1 かつての令制国名である信濃国に由来し、長野県内では千曲川と呼ばれている。	信濃川という名称は、新潟県側から見て「信濃国（現在の長野県）から流れてくる川」であることに由来しています。長野県内では「千曲川」という別名で呼ばれることが大きな特徴です。なお、流域面積が日本で最も広いのは利根川、太平洋に注ぐ中部地方の河川には天竜川などがあります。
問2	答え 1 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。	第6次産業化とは、第1次産業（農業・水産業など）の従事者が、第2次産業（製造・加工）と第3次産業（流通・販売・観光など）を融合させることで、農産物に新たな付加価値を生み出す取り組みです。佐渡島でも、特産品を使った加工品の開発や直売所の運営など、農業を多角化することで地域の所得向上や産業の活性化を図っています。
問3	答え 1 四日市港	三重県の四日市港は、中京工業地帯における重要な物流拠点です。かつては石油化学コンビナートが中心でしたが、現在は高度な技術を用いた半導体関連製品や自動車の輸出が盛んであり、輸出額は全国でもトップクラスに位置しています。特に地理的に近い中国や韓国が主要な貿易相手国となっている点が現代の特色です。
問4	答え 1 豊川用水	渥美半島はもともと大規模な河川がなく水不足に悩まされていましたが、1960年代に豊川用水が完成したことで、安定した農業用水の確保が可能になりました。これにより、温室を利用した施設園芸農業が急速に発展しました。なお、愛知用水は知多半島、明治用水は安城市周辺（西三河平野）を流れる用水です。
問5	答え 1 米の生産が盛んな地域であるが、産出額の構成において果実も一定の割合を占めている。	石川県は中部地方の中で、人口規模では愛知県などの大都市圏を下回りますが、日本海側の気候を活かした農業が展開されています。北陸地方の特徴として稲作（米）の割合が高いことが挙げられますが、石川県においては梨やぶどうといった果実の生産も農業産出額の中で特徴的な位置を占めています。統計を読み取る際は、単に「日本海側＝米」と思い込まず、果実などの他品目との組み合わせに注目することが重要です。
問6	答え 1 中京工業地帯の中核に位置し、自動車の生産額が非常に多い愛知県である。	製造品出荷額のうち輸送用機械が26兆円を超えるというデータは、日本最大の自動車産業の集積地である愛知県の特徴を強く示しています。愛知県は農業においてもキャベツなどの生産が盛んですが、工業の規模が極めて大きいため、米の産出割合が極めて高い新潟県や、野菜・果実の比率が高い長野県といった農業的特徴が強い県との識別の決定打となります。
問7	答え 1 通勤や通学の利便性が高い鉄道沿線の土地が需要を増したため、水田だった場所が大規模な住宅地として整備された。	都市の拡大（スプロール現象や計画的な宅地開発）は、多くの場合、主要な交通網に沿って進行します。JR富山港線沿線において、戦後直後の地形図で「水田」の記号で埋め尽くされていた場所が、平成の地図で「住宅地」を示す網掛けに変わっているのは、鉄道という交通インフラを軸に居住エリアが郊外へと広がったことを示しています。選択肢にある「県庁が畑地にあった」という記述や「市役所の移転」は、このエリアの主たる土地利用変化の直接的な説明には当てはまりません。
問8	答え 1 輪中（わじゅう）	濃尾平野の下流域は海抜が低く、三つの大きな河川が合流・分岐を繰り返すため、古来より洪水が多発する地域でした。住民は自らの居住地や田畑を水害から守るため、集落の周りをぐるりと堤防で囲む「輪中」を形成しました。これは地形的制約を克服するための生活の知恵として知られています。
問9	答え 1 富山県の神通川流域	イタイイタイ病は、富山県の神通川上流にある鉱山から排出されたカドミウムが、下流域の土壌や飲料水を汚染したことで発生しました。四大公害病のうち、熊本県と新潟県では有機水銀による水俣病が発生し、三重県では二酸化硫黄による四日市ぜんそくが発生しました。地域と原因物質、病名の組み合わせを正確に把握しておくことが重要です。

問1 航空ネットワークにおいて、自転車の車輪の軸のように国内外の多数の路線が集中し、乗客が目的地へ向かうための乗り換え拠点として機能する大規模な空港を何と呼びますか。 (2019年 大分県公立入試 類似)

1. ハブ空港 2. 地方管理空港 3. 国際貨物ターミナル 4. 不沈空母

問2 中部地方の各県の農業産出額を比較した資料において、野菜と果実の産出額がともに他県を大きく上回っている長野県の農業の特色について、その背景を説明したものと最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)

1. 標高の高い地域の涼しい気候を活かした抑制栽培を行い、レタスなどの野菜を都市部が品薄になる時期に出荷している。 2. 平坦な広大な土地と豊富な水資源を活かし、機械化による大規模な稲作を主体とすることで、米の産出額を伸ばしている。 3. 黒潮の影響を受ける温暖な気候を活かした促成栽培を行い、冬でもピーマンやなすなどの野菜を生産している。 4. 三大都市圏に近い立地条件を活かして、収益性の高いキャベツの生産や、電照菊などの花きの栽培を大規模に行っている。

問3 日本アルプスを構成する3つの山脈について、北から順に、通称「北アルプス」「中央アルプス」「南アルプス」と呼ばれます。このうち、最も北側に位置する「北アルプス」の正式名称を選びなさい。 (2024年 長野県公立入試 類似)

1. 飛騨山脈 2. 木曽山脈 3. 赤石山脈 4. 越後山脈

問4 中部地方には、日本の屋根と呼ばれる標高3000メートル級の山々が連なる地域があります。このうち、北陸新幹線の福井駅から軽井沢駅へと向かう路線の近傍に位置し、「北アルプス」の別名でも知られる険しい山脈の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. 飛騨山脈 2. 木曽山脈 3. 赤石山脈 4. 日高山脈

問5 富山ライトレールの開業前後における利用者数の変化について、JR時代の2005年とLRT導入後の2006年を比較した統計があります。この統計では、60代の利用者が260人から814人に、70代の利用者が164人から566人に増加したことが示されています。この変化について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。 2. 10代の利用者の増加割合が最も大きく、高齢者の増加率を大きく上回った。 3. 50代の利用者が全ての年代の中で最も多くなり、利用者層の中心となった。 4. 高齢者の利用者は増えたものの、JR時代と比較した伸び率は2倍未満にとどまった。

問6 中部地方各県の農業産出額の内訳を示した統計において、愛知県や長野県、静岡県などでは、産出額が最も多い上位品目の割合がいずれも全体の50パーセントに満たないという特徴が見られます。このような統計から読み取れる、これらの県における農業の特色として最も適切なものはどれですか。 (2020年 京都公立入試 類似)

1. 特定の作物のみを大規模に生産するモノカルチャー経済が確立されている 2. 地形や気候の制約により、生産できる農作物の種類が極めて限定されている 3. 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている 4. 農業従事者の高齢化により、主要な品目の産出額が平均的に減少している

問7 北陸新幹線を利用して福井駅から長野方面へ向かう際、列車が停車する主な駅の順序を西から東へ順に並べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 福井公立入試 類似)

1. あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野 2. あわら温泉、加賀温泉、富山、金沢、長野 3. 金沢、加賀温泉、あわら温泉、富山、長野 4. あわら温泉、加賀温泉、金沢、長野、富山

問8 中部地方に位置し、北側で石川県、南側で滋賀県、東側で岐阜県と隣接する県があります。この県は日本海（若狭湾）に面しており、県内の鯖江市では国内生産の大部分を占める眼鏡枠の製造が盛んです。この県の名前として正しいものを選びなさい。 (2021年 三重公立入試 類似)

1. 福井県 2. 石川県 3. 滋賀県 4. 岐阜県

問9 飛騨山脈、木曽山脈、赤石山脈という険しい山々が並ぶ地域や、その南側の富士山に近い地域で見られる気候の特色について、正しい説明はどれですか。 (2019年 大阪公立入試 類似)

1. 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。 2. 黒潮の影響を強く受けるため、一年を通じて温暖で降水量が多い太平洋側の気候となる。 3. 季節風が山脈を越えてくるため、冬には日本海側特有の平野部よりも多い降雪が一年中続く。 4. 標高が高いため、一年を通じて湿った空気が流れ込み続け、国内で最も降水量が多い地域となる。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ハブ空港	多くの路線が一点に集中し、そこから各地へ放射状に伸びる様子を車輪の軸（ハブ）に例えた名称です。効率的な乗り継ぎ（トランジット）を可能にすることで、航空網全体の利便性を高める役割を担っています。
問2	答え 1 標高の高い地域の涼しい気候を活かした抑制栽培を行い、レタスなどの野菜を都市部が品薄になる時期に出荷している。	長野県は中央高地の冷涼な気候や標高差を活かし、夏でも涼しい高原でレタス、キャベツ、はくさいなどの「高原野菜」を育てる抑制栽培が盛んです。また、水はけの良い扇状地や傾斜地では、りんごやぶどう、ももなどの果実栽培も非常に盛んであり、これらの産出額が統計上の大きな特徴となっています。
問3	答え 1 飛騨山脈	日本アルプスは北から順に、飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）という名称がついています。これらの山脈は、日本列島を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の西側に位置しており、日本の国土を象徴する高峻な地形で構成されています。
問4	答え 1 飛騨山脈	中部地方の中央部には、北から順に飛騨山脈（北アルプス）、木曾山脈（中央アルプス）、赤石山脈（南アルプス）の3つの山脈が並んでおり、これらを総称して日本アルプスと呼びます。北陸新幹線のルートは、石川県や富山県といった日本海側の地域から長野県の内陸部へと抜ける際、最も北側に位置する飛騨山脈の裾野を通る形になっています。日高山脈は北海道に位置する山脈であるため、位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問5	答え 1 60代と70代の利用者が、JR時代と比較してそれぞれ3倍以上に急増した。	富山ライトレール（LRT）の導入による効果を年代別に分析すると、高齢者層の利用に劇的な変化が見られました。具体的には、60代の利用者が約3.1倍（260人から814人）、70代の利用者が約3.4倍（164人から566人）となっており、いずれも3倍を超える大幅な増加を記録しています。これは、公共交通の利便性向上やバリアフリー化が、高齢者の外出促進に大きく寄与したことを示しています。
問6	答え 3 米、野菜、果実、畜産などが特定の品目に偏りすぎることなく、分散して生産されている	中部地方の多くの県では、平野部での稲作に加え、高冷地での野菜栽培、扇状地での果実栽培、都市近郊や山間部での畜産など、多様な地形や気候条件を活かした農業が行われています。そのため、一つの品目に依存するのではなく、農業産出額の上位品目が多岐にわたっており、産出額の構成における多様性が高いことが特徴です。
問7	答え 1 あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野	2024年3月に金沢・敦賀間が延伸開業した北陸新幹線のルートを確認すると、福井県から石川県、富山県、新潟県を経て長野県へと至ります。福井駅を出発して北東へ進むと、福井県北部のあわら温泉駅、石川県に入って加賀温泉駅、そして石川県の県庁所在地である金沢駅に到着します。その後、富山県の県庁所在地である富山駅を経由し、内陸に入って長野駅へと向かいます。富山と金沢の順序、および長野の位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問8	答え 1 福井県	福井県は中部地方の日本海側に位置し、若狭湾の複雑な海岸線や、石川・滋賀・岐阜の各県と接する地理的特徴を持ちます。鯖江市の眼鏡枠製造は、雪深い冬の農閑期における副業として始まった歴史があり、現在では世界的な技術力を誇る産地として知られています。
問9	答え 1 高い山々に囲まれた盆地が多く、夏と冬の気温差や昼夜の温度差が大きい内陸の気候となる。	長野県や山梨県は日本アルプスなどの高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入りにくく、降水量が比較的少ない内陸の気候（中央高地の気候）となります。また、盆地は熱がこもりやすく、夜間は放射冷却により冷え込みやすいため、気温の年較差や日較差が大きくなるのが特徴です。